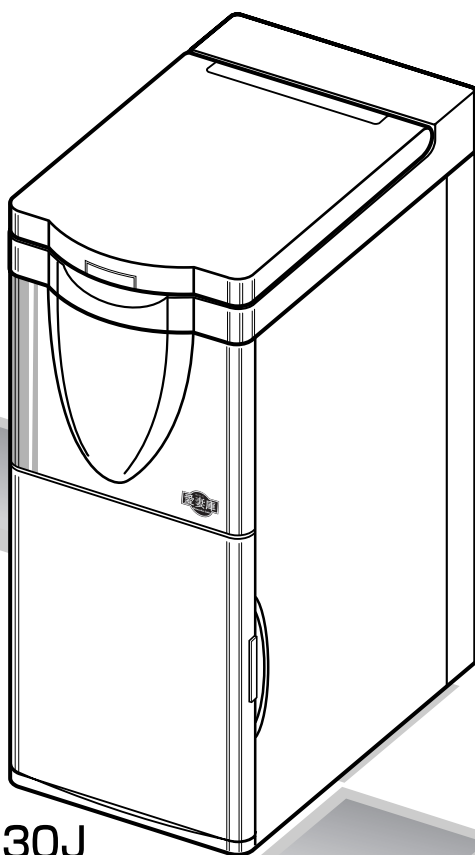


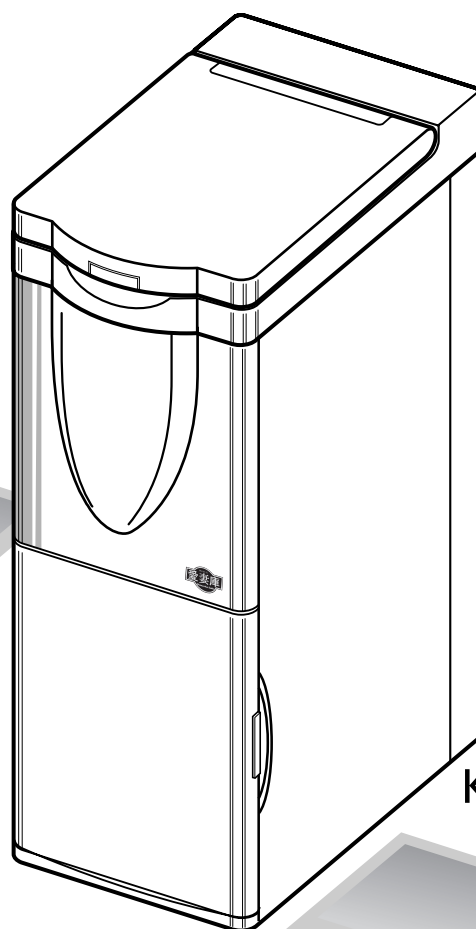


白米保冷库
KS-310J・KS-230J

取扱説明書



KS-230J



KS-310J

- ご使用前に、正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、必要なときにいつでも調べられるように、大切に保管してください。

はじめに

このたびは、白米保冷庫をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

この取扱説明書は当製品を安全に、正しくご利用いただくためのガイドブックです。

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、内容をご理解された上で、正しくお使いいただけますようお願いいたします。

この取扱説明書が必要なときにいつでも調べられるように、大切に保管してください。

次に、誤った取扱いをした場合に生ずる危険とその程度を示す表示と区分について説明いたします。



危険

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷事故につながる可能性が想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷事故につながる可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人がケガをする可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

本製品につきましてご不明な点がございましたら、ご購入先または弊社の営業所か本社営業部（連絡先参照）にお問い合わせください。

はじめに	1
もくじ	2
●● 1 安全にお使いいただくために	3
1.1. 安全上の注意事項	3
1.2. 警告表示ラベルの貼付位置	5
1.3. 警告表示ラベルの内容	6
●● 2 使い方	7
2.1. 各部のなまえと説明	7
2.2. 設置について	8
2.3. 電源の接続について	9
2.4. お米の入れ方	9
2.5. お米の出し方	11
2.6. 庫内冷却について	13
2.7. 排水について	13
●● 3 日常の点検とお手入れ	14
3.1. 投入口蓋と取出ドア	14
3.2. 本体のお手入れ	14
3.3. 米びつ内部のお手入れ	15
3.4. 各部の材質	15
●● 4 故障かな？	16
●● 5 廃棄について	16
保証書	17
仕 様	18
連絡先	18

1 安全にお使いいただくために

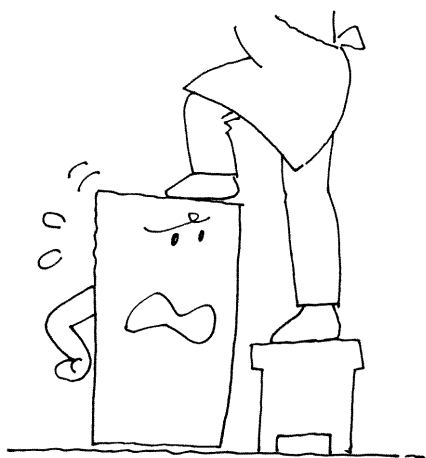
1.1.安全上の注意事項

安全にお使いいただくために、次の注意事項を守ってください。



危険

- 本体の上に乗らないでください。
転落してケガをする恐れがあります。



警告

- 修理技術者以外の方は分解しないでください。火災・感電・ケガの原因になります。

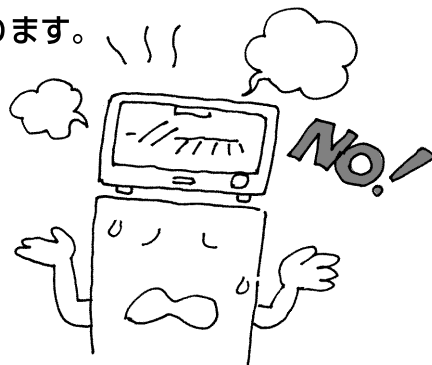


- 本体に水をかけないでください。
漏電や火災になる恐れがあります。



- フタの上に熱いもの（60℃以上）
や重いもの（30kg以上）を置かない
でください。

また、オーブントースターなどの熱くなるものを置かないでください。
本体が熱くなり、火災になる恐れが
あります。

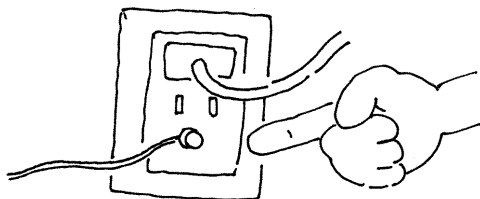


⚠ 警告

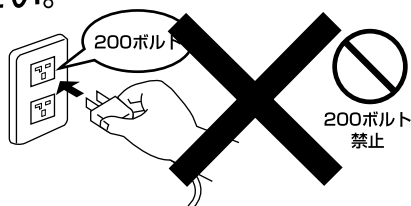
- お米を収納した状態で運搬しないでください。落下して、ケガをする恐れがあります。



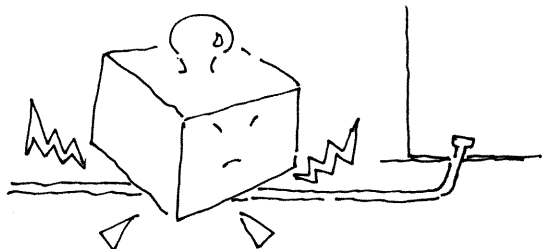
- 感電事故防止のため、アース線の接続をしてください。



- この機械は交流100V専用です。交流200Vは絶対に使用しないでください。



- 電源コードを傷つけたり、無理な力を加えないでください。電源コードが破損すると、火災や感電の原因になります。

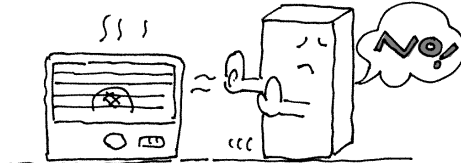


⚠ 注意

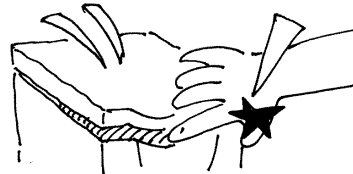
- 本体背面の吸排気口を布などでふさがないでください。また、本体の周りに通気スペースを確保してください。熱交換ができなくなり、故障の原因となります。



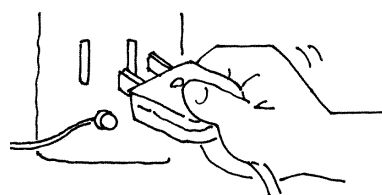
- ストーブなどの火気の近くに置かないでください。変形や変色の原因になります。



- フタやドアを閉めるとき、手をはさまないようにしてください。

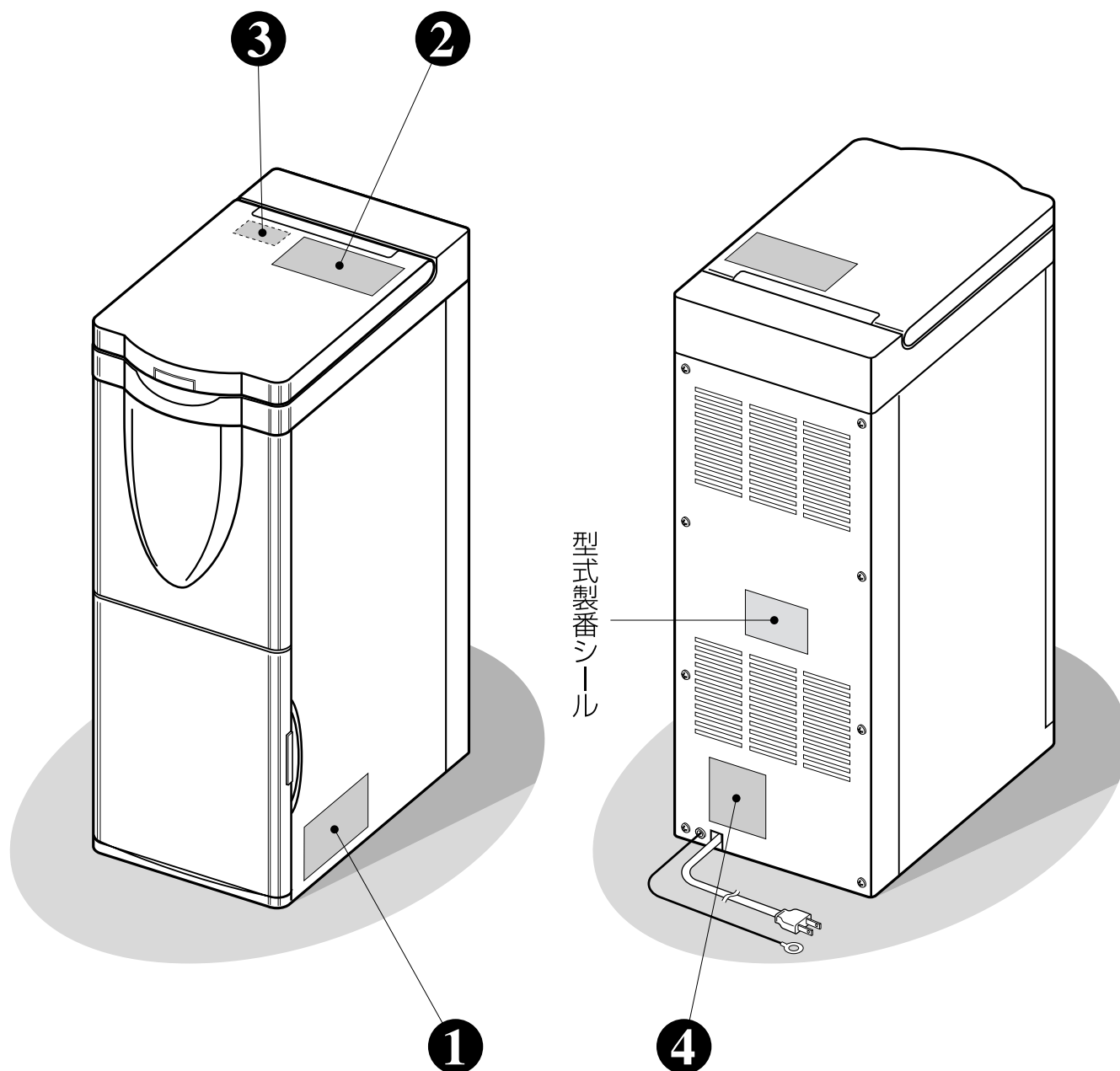


- 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに、必ず、先端の電源プラグを持って抜いてください。電源コードが傷み、感電や火災の原因になります。



1 安全にお使いいただくために

1.2. 警告表示ラベルの貼付位置



図面表示番号	標識	名 称	貼付位置	品 番
①	警告	本体・警告注意ラベル	本体右下側面	10742-200003
	注意			
②	危険	蓋・危険警告注意ラベル	投入口蓋	10742-200004
	警告			
③	注意	掃除・注意ラベル	投入口蓋	10742-200005
④	警告	感電・異物・警告ラベル	本体後面	10742-200006

1.3. 警告表示ラベルの内容

警告表示ラベルの内容は次の通りです。

警告表示ラベルが汚れ、破れなどで見にくくなったときは、新しいラベルに貼り替えてください。ラベルはご購入先に注文してください。

①

⚠ 警告	⚠ 注	意
修理技術者以外の人 は分解しないでくだ さい。 火災・感電・ケガ・ 故障の原因になりま す。	事故防止のため、運 転を始める前に必ず 取扱説明書を読んで から操作してくださ い。	周囲に5cm以上の スキマを開けてくだ さい。 熱がこもると冷えな くなります。
		周囲温度30℃以下 のところでお使いく ださい。 周囲温度が高くな ると庫内が冷えなくな ります。
		こぼれた米は取り除 いてください。 ドアのパッキン部に 米がはさまると、冷 えなくなります。 ドアはしっかり閉め てください。
		10742-200003

②

⚠ 危険	⚠ 警	告	⚠ 注	意
本体の上に乗ら ないでください。 転落してケガを することがあり ます。 また、投入口蓋 が破損すること があります。	本体の上には60℃以上の 熱いものを置かないでくだ さい。投入口蓋が変形しま す。 本体の上にオープントース ターなどの熱くなるものを 置かないでください。 本体が熱くなり、火災を 起こす恐れがあります。	本体の耐荷重は 30Kgです。 重いものを乗せ ないでください。	投入口蓋はカチッ と音がするまで 確実に閉めてく ださい。 庫内が冷えなく なったり、結露 が発生します。	精米直後で温度 の高いお米は入 れられないでくだ さい。 お米がひび割れ たり、米びつ内 部に結露が発生 することがあり ます。
				10742-200004

③

⚠ 注	意
	こぼれた米は取り除 いてください。 投入口蓋のパッキ ン部に米がはさまると、 冷えなくなります。 投入口蓋はしっかり 閉めてください。
	10742-200005

④

⚠ 警	告
感電することがあ りますので、電源 を入れる前に必ず アース線を接続し てください。	後面のスリットから箸 などの尖ったものを入 れないでください。 故障の原因になりま す。 金属の棒を入れると感 電することがあります。
	10742-200006

2.1. 各部の名前と説明

投入口蓋

この蓋を開けてお米を入れます。
この蓋は外れます。
お米を入れるとき以外は、開けないでください。

投入口**計量ボタン**

計量ボタンは3つあります。
必要量のボタンを押してください。

取出ドア

お米を取り出すときに開けます。
お米を取り出すとき以外は開けないでください。

冷却部

冷却部は内蔵されています。

本体**残量表示窓**

この窓からお米が見えなくなったら、お米を補充してください。

計量ボタンロック

右へ動かすとロックします。

米受け皿

取り出したお米はここに入ります。

背面カバー

空気が穴から出入りして熱交換します。

アース線**電源コード**

100V電源に差し込みます。

計量器

(米びつを取り出して見た所)

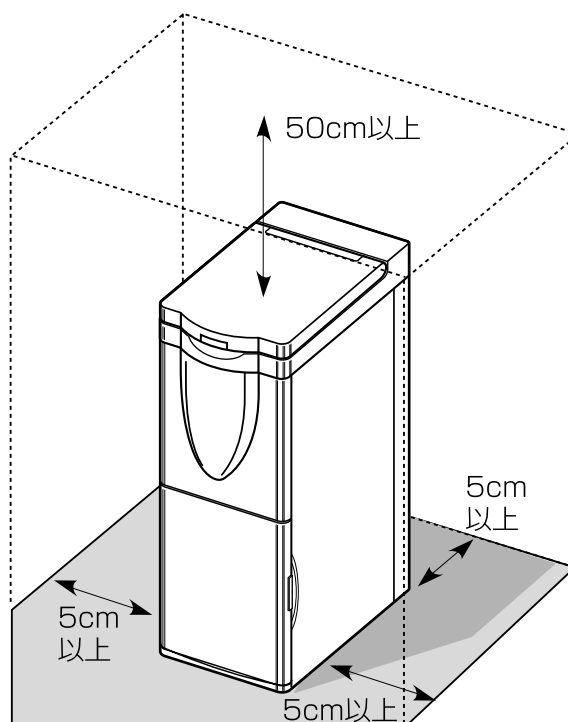
(後から見た所)

2.2. 設置について

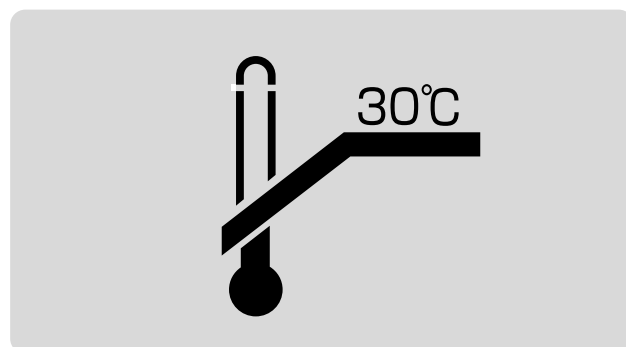
- ❶ 本体の周囲には**5cm以上**のスペースを設けてください。

本体の背面で熱交換をしています。
このスペースがないと、熱がこもってしまい冷えなくなります。
保冷庫の性能を十分に活かすため、風通しのよい所に設置してください。

- ❷ 本体の上には**50cm以上**のスペースを設けてください。このスペースがないと、お米が入れにくくなります。また、お米をこぼしやすくなります。



- ❸ 周囲温度が**30℃以下**の場所に設置してください。周囲温度が高くなると、庫内が冷えなくなります。
また、直射日光が当たる所やストーブの近くなどに置かないでください。
庫内が冷えなくなったり、変形・変色の原因となります。

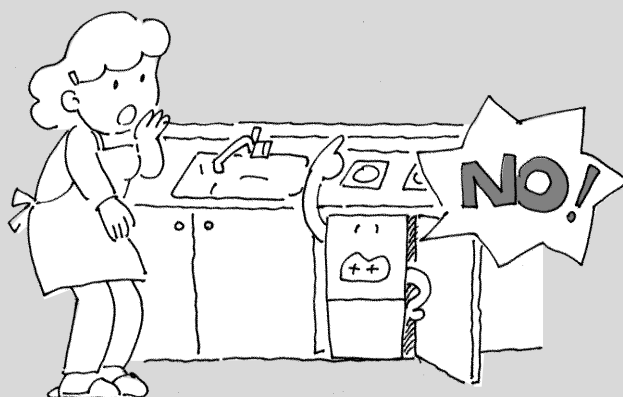


- ❹ 水平なところに設置してください。設置場所が水平でないと、正確なお米の計量ができなくなります。

- ❺ テレビやラジオなどからできるだけ離して設置してください。
映像の乱れや雑音が入ることがあります。

⚠ 注意

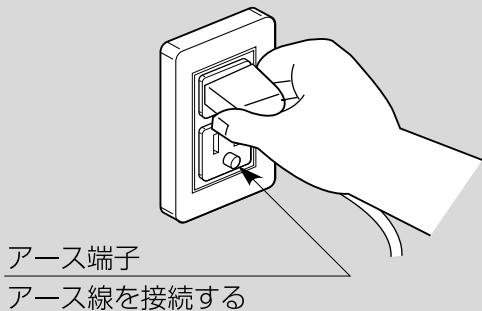
- 流し台の下などの空気が流れないところには、絶対に設置しないでください。



2 使い方

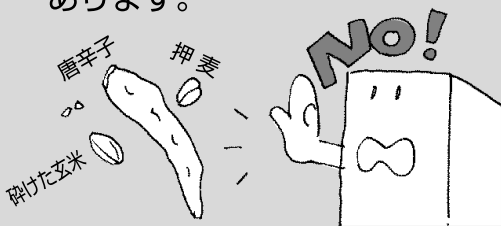
2.3. 電源の接続について

- 電源プラグを確実に根元までコンセントに差し込みます。
電源プラグを差し込むと冷却運転を始めます。(運転スイッチはありません。)
- アース線は、必ずアース端子に接続してください。



⚠ 注意

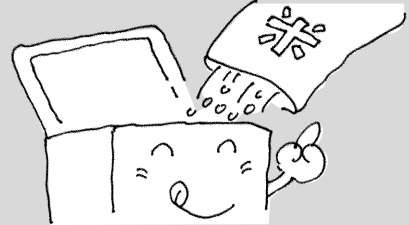
- 砕けた白米や玄米・押麦・小麦などは入れないでください。
また、唐辛子などの異物は絶対に入れないでください。計量器の回転部分のスミに細かいものが入り、計量器が動かなくなることがあります。



2.4. お米の入れ方

⚠ 注意

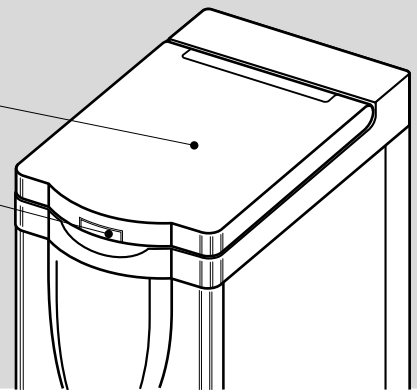
- 白米以外のものを入れないでください。



- 投入口蓋をはずし、投入口からお米を入れます。入るお米の量は、KS-310Jで約31kg(投入口スリキリ状態)、KS-230Jで約23kgです。投入口蓋はロックをはずして上に開ければ外れます。

投入口蓋

ロック



⚠ 注意

- 精米直後で温度の高い白米は、さまして、周囲温度と同じになってから入れてください。温度の高い白米を急に冷やすと、お米がひび割れます。
また、米びつ内部に結露することがあります。



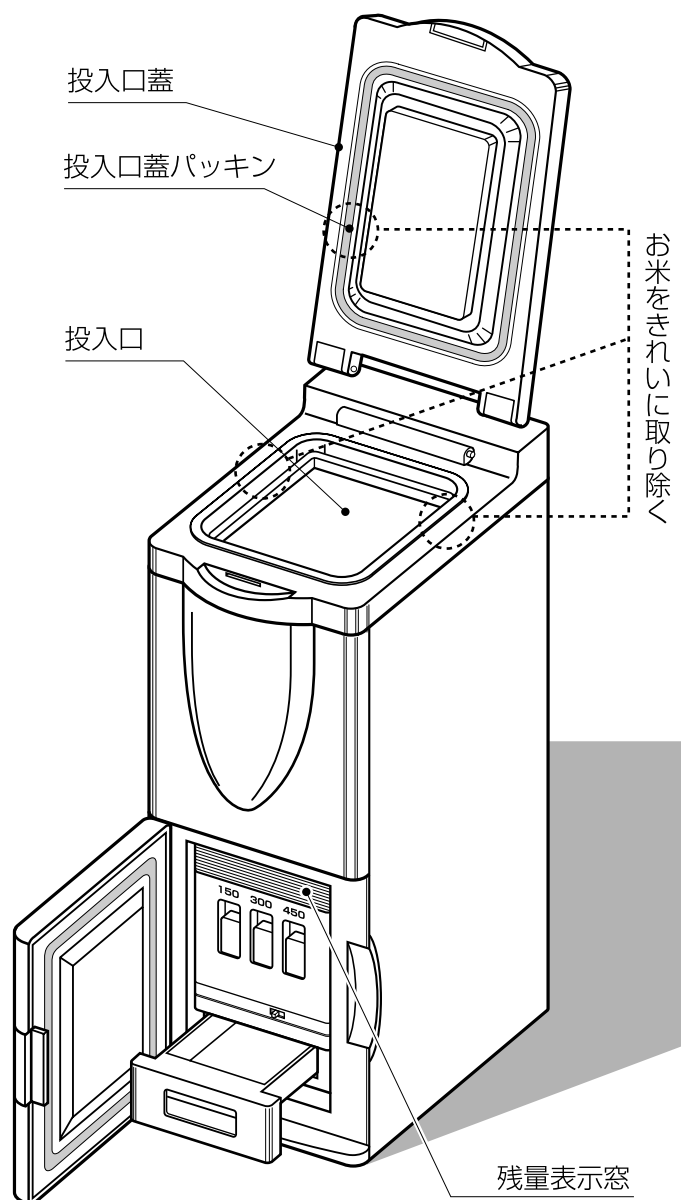
⚠ 注意

- 投入口の上にこぼれたお米はきれいに取り除いてください。
- 投入口蓋のパッキン部にはさまったお米は取り除いてください。投入口蓋がうまく閉まらなくなり、米びつ内部が結露したり、庫内が冷えなくなったりします。お米がカビる場合もあります。



⚠ 注意

- 投入口蓋はカチッと音がするまで確実に閉めてください。



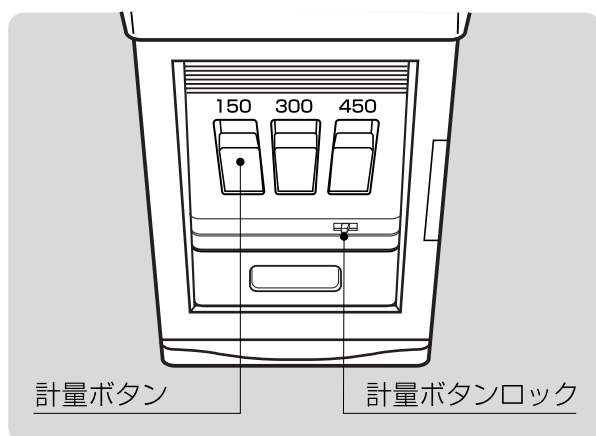
- 残量表示窓からお米が見えなくなったら、お米を追加してください。残量表示窓からお米が見えなくなったときのお米の残量は約2kgです。
- お米を追加するとき、先に入れたお米が残らないように米びつ四隅のお米を中央に寄せてください。

2 使い方

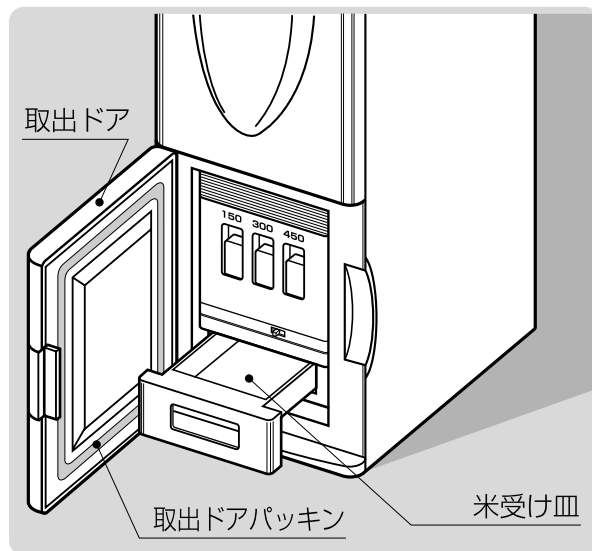
2.5. お米の出し方

- 取出ドアを開け、計量ボタンを押してお米を取り出します。

計量ボタンは、**約150g**(約1合)・**約300g**(約2合)・**約450g**(約3合)の3つあります。(無洗米は1合につき約10g多くなります。) 必要量のボタンを**1つずつ**押してください。計量ボタンロック(お子様などのイタズラ防止用)が掛かっているときは、ロックを外してから計量ボタンを押してください。

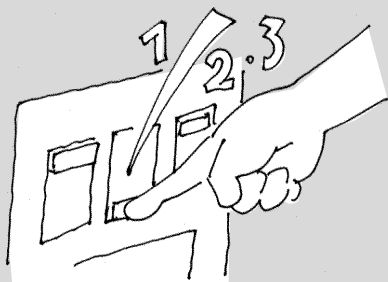


- お米は、米受け皿の中に入ります。米受け皿には一度に**約900g**(約6合)まで取り出すことができます。約900g(約6合)以上のお米を一度に取り出しますと、お米が米受け皿からあふれることがあります。一度、米受け皿を空にしてからお使いください。



⚠ 注意

- 正確に計量するため、計量ボタンは、確実に下までしっかり押し、お米が出てから(2～3秒後)離してください。
- 連続して使用する場合は、お米が出終わってから次のお米が内部の計量器に完全に入りきるまで待つて(2～3秒後)から押してください。



⚠ 注意

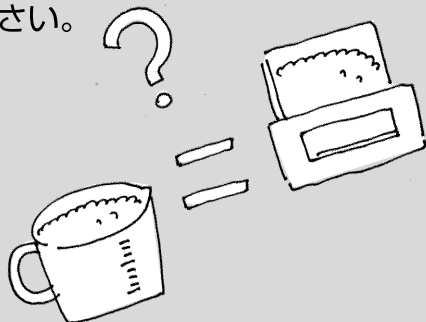
- 米受け皿は、必ず元の位置に戻してください。
- 米受け皿が濡れた場合は、きれいにふき取ってから戻してください。
- 取出ドア部にこぼれたお米や取出ドアのパッキン部にはさまったお米は、きれいに取り除いてください。
- お米を出し終わったら、必ず取出ドアをカチッと音がするまで確実に閉めてください。
- 取出ドアがきちんと閉っていないと、米びつ内部が結露したり、庫内が冷えなくなります。また、お米がカビる場合もあります。

【計量精度について】

- ① 計量ボタンを押して出るお米の量は、お米の品種・搗精歩合(お米の搗き方)などにより、**若干の差**がでます。循環型精米機で精米した7分搗きなどのお米は、ヌカを取り除いてから入れてください。ヌカが混じっていると、お米の出る量が減ります。(5～10%) また、ヌカが混じっていると、お米が出なくなることもあります。
- ② この米びつは、計量法に基づくものではありません。あくまでも、**目安**としてお使いください。
- ③ 計量ボタンを押して出るお米の量は、お米を入れたときと、お米がなくなりかけたときでは差がでます。
- ④ 定量のお米が出なかったり、計量ボタンが戻らなくなったときは、米びつの中に、レシートや米袋の切れ端などが入っている場合があります。米びつの内部を確認してください。

⚠ 注意

- 今までお使いの米びつや計量カップで計った量とは、若干異なることがあります。必ず、今までのものとの比較をしてください。



【洗米と水加減について】

- ① 白米保冷库から出したお米は、**すみやかに研いでください**。冷えたお米をそのまま放置しておきますと、お米に露がつき、お米がひび割れることがあります。
- ② 今までお使いの米びつなどで計ったお米の量との比較をされた上で、炊飯時の水加減を決めてください。
- ③ 美味しいごはんにするために、水加減を調節してください。

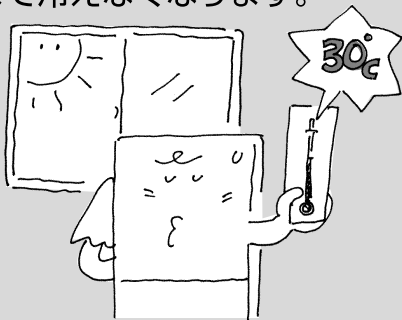


2.6. 庫内冷却について

- この白米保冷库の冷却温度は**15℃を基本**にして**13～16℃程度**に制御します。周囲温度が高い時期や、お米を入れた後などは、庫内温度が上がらないよう連続して運転をします。お米の温度が下り、周囲温度が下がると(約20℃以下)、それに合わせて、冷却能力を変えて運転します。運転は続けますが、省エネ運転になるわけです。周囲温度がさらに下がって、冷却の必要がなくなると、冷却運転を停止します。例えば、昼間は運転し、夜間は停止する動作になります。また、昼間でも運転したり、停止したりという動作になることもあります。

⚠ 注意

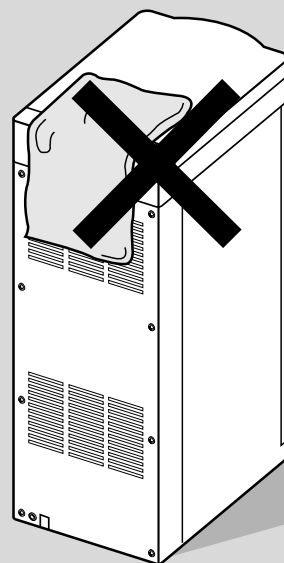
- 白米保冷库が置かれている場所の温度が**30℃以上**になると、庫内が**15℃**まで冷えなくなります。



- 外気温度が**30℃**のとき、白米保冷库に入れたお米は約3日間程度で**15℃**まで下がります。
- この白米保冷库は、ペルチェ電子冷却素子を用いて冷却しています。ペルチェ電子冷却素子の能力を十分に発揮させるには、外気との熱交換が必要です。本体の周りには、**5cm以上**のスキマを開け、空気が流れるようにしてください。

⚠ 注意

- 本体背面の吸排気口を布などでふさがないでください。熱交換ができなくなり、故障の原因となります。



- この白米保冷库には加温機能がありません。
15℃以下に外気温度が下がると、庫内の温度も外気温度に応じて下がります。15℃以下になっていれば、お米の品質には影響ありません。
- お米には害虫の幼虫、卵が付着していることがあり、保存時間の経過につれて害虫が発生することもありますので、お米を入れる際はご注意ください。

2.7. 排水について

- 冷却部から出る排水は、内部の水受けタンクに入り、蒸散シートから蒸発していきます。

3 日常の点検とお手入れ

3.1. 投入口蓋と取出ドア

- 投入口蓋と取出ドアのパッキン部に米粒がはさまっていないことを確認してください。
- 投入口蓋と取出ドアがきちんと閉められていることを確認してください。
- 投入口蓋の上に、熱いものや重いものが置かれていないことを確認してください。

3.2. 本体のお手入れ

- 本体に汚れがあるときは、水で薄めた中性洗剤を柔らかい布かスポンジに含ませて拭いてください。
次に、洗剤が残らないよう、水拭きしてください。

！ 警告

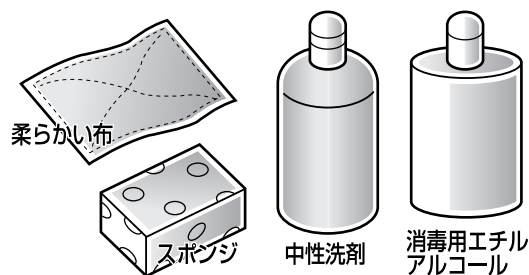
- 本体は、絶対に水を掛けて洗わないでください。漏電や故障の原因になります。
- みがき粉・たわし・ベンジン・酸性洗剤・アルカリ性洗剤などは絶対に使わないでください。本体が傷みます。

！ 注意

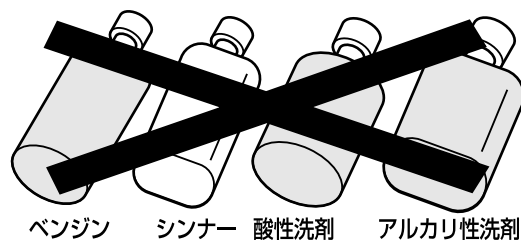
- お手入れの際には、手袋等の保護具を着用し、ケガのないように注意してください。



お手入れに使って良いもの



お手入れに使ってはいけないもの



3 日常の点検とお手入れ

3.3. 米びつ内部のお手入れ

- お米の貯蔵部やお米の出口には、ヌカが付着します。

お米を追加した回数の2～3回に一度は全部の計量ボタンを押して、中のお米を出しきり、掃除をしてください。

- 米びつ内部の掃除は、空ぶきのみにしてください。

水で洗うとサビることがあります。



3.4. 各部の材質

各部には次の材料を使っています。

部 品 名	使 用 材 料	熱変形温度
投入口蓋 投入口 正面パネル 取出ドア 取出口 米受け皿	PS樹脂	70℃
計量器 計量ボタン	ABS樹脂	70℃
残量表示窓	AS樹脂	80℃
断熱材	発泡PS・ 硬質ウレタン	70℃
本体	塗装鋼板	—



4 故障かな？

〔故障かなと思ったら〕次の点検をしてください。容易に処置できることがあります。
それでもなお調子が悪いときは、ご購入先、または弊社にご連絡ください。

こんなとき

調べるところ

直しかた

よく冷えない。

- 電源プラグがしっかり差し込まれていますか。
- 周囲温度が高くありませんか。
- 投入口蓋や取出ドアがしっかり閉まっていますか。
- 投入口や投入口蓋パッキン・取出ドアパッキンにお米が残っていませんか。
- 直射日光が当たっていませんか。
- 近くにストーブなどの熱くなるものがありますか。
- 吸気口・排気口をふさいでいませんか。
- 確実に差し込む。
- 周囲温度が30℃以下になるよう工夫する。
- しっかり閉める。
- お米を取り除く。
- 日除けをするか、設置場所を変更する。
- ストーブなどから遠ざける。
- ふさいでいるものを取り除く。

投入口蓋や
取出ドアの周りに
露が付く。

- 投入口蓋や取出ドアはきちんと閉まっていますか。
- パッキンにお米がはさまっていませんか。
- しっかり閉める。
- はさまっているお米を取り除く。

お米が出ない。

- 米びつ内部にレシートや唐辛子などの異物が入っていませんか。
- 砕けた白米や玄米・押麦・小麦などを入っていませんか。
- 計量ボタンロックが掛かっていませんか。
- お米は入っていますか。
- 米びつ内部の確認をする。
- 砕けた白米などを入れないようにする。
- 計量ボタンロックを外す。
- お米を入れる。

お米の量が
合わない。

- 計量ボタンを下までしっかり押していますか。
- 計量ボタンは一つずつ押していますか。
- 本体は傾いていませんか。
- 計量ボタンを下までしっかり押し下げる。
- 計量ボタンを一つずつ押し下げる。
- 本体を水平にする。

ご飯の炊き加減が
変わった。

- 炊飯時の水の量は合っていますか。
- お米と水の量を確認する。

お米が米受け皿から
あふれる。

- 1回に900g(6合)以上を出していませんか。
- 1回の量を900g以下にする。

5 廃棄について

- 長年お使いいただいた後、廃棄される場合は、一般廃棄物として処理してください。
(不法投棄は絶対にしないでください。廃棄物処理法により罰せられます。)
- 地域により廃棄方法や区分が異なることがあります。
詳しくは、各市町村の廃棄担当部署にご確認の上、処理をしてください。

保証書

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
お買い上げいただきました製品につきまして、下記のとおり保証をいたします。

記

- 1.保証期間** 納入日から起算して1年間です。
- 2.保証内容** この製品は万全の品質管理と検査を経てお届けしたものです。万一、正常な使用状態で故障した場合には、弊社製品取扱先及びその指定サービス工場で当該部品の取替え、または、修理を無料でいたします。
- 3.適用除外** 保証期間内でも、下記の場合には保証いたしません。
- (1) 使用上、並びに取扱い上の不注意、過失、点検不備によって、故障が生じた場合
 - (2) 弊社が規定する仕様の限界を越えて使用した場合
 - (3) 弊社が認めない改造変更が原因となって故障した場合
 - (4) 弊社純正部品以外の部品使用が原因で故障した場合
 - (5) 弊社製品の取扱先、または、その指定サービス工場以外で修理され故障した場合
 - (6) 故障判定資料の不十分なもの、及び損傷部品を紛失された場合
 - (7) 消耗部品
 - (8) 保証書の提示がない場合は有償となることがあります
 - (9) 保証書を紛失した場合は再発行いたしません

4.部品の供給年限

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後6年といたします。ただし、供給年限内であっても、特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。

補修用部品の供給は、原則的に上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期及び価格についてご相談させていただきます。

※本保証書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid in Japan）

 **静岡製機株式会社**

静岡県袋井市山名町4-1

1.お買い上げ製品	(機種名)
2.製造番号	
3.年 月 日	年 月 日
4.据付者氏名	取扱先名
	氏 名

仕 様

名 称	白米保冷库	
型 式	KS-310J	KS-230J
本体寸法(幅×高さ×奥行)(mm)	310×774×581	310×677×581
本 体 質 量 (kg)	25	22
米 収 納 量 (kg)	31	23
米 受 け 皿 (ℓ)	1.6	
計 量	150g・300g・450gの3種類	
電 源	単相100V・50/60Hz	
最 大 消 費 電 力	120W	110W
冷 却 温 度	13～16℃	
冷 却 方 式	ペルチェ電子冷却素子	
使 用 環 境 温 度	0～30℃	
使 用 環 境 湿 度	30～85%RH	
安 全 装 置	電流ヒューズ、温度ヒューズ	

電源コードの長さ：2.3m

連絡先

機械に異常が発生し、原因が不明で適切な処置ができない場合は、購入先または下記のところへ連絡してください。

購 入 先	
住 所	
T E L	

静岡製機株式会社

営業本部 〒437-1121 静岡県袋井市諸井1300 ☎袋井(0538) 23-2822 FAX.(0538) 23-2890
 北海道営業所 〒007-0804 札幌市東区東苗穂4条3丁目4番12号 ☎札幌(011) 781-2234 FAX.(011) 780-2273
 東北営業所 〒989-6135 宮城県大崎市古川稲葉字亀ノ子50-1 ☎古川(0229) 23-7210 FAX.(0229) 21-1330
 新潟営業所 〒950-0923 新潟県新潟市中央区姥ヶ山1丁目5番30号 ☎新潟(025) 287-1110 FAX.(025) 257-1197
 関東営業所 〒302-0017 茨城県取手市桑原字桑原1424-1 ☎取手(0297) 73-3530 FAX.(0297) 70-1137
 中部営業所 〒437-0023 静岡県袋井市高尾2620-1 ☎袋井(0538) 43-2251 FAX.(0538) 45-0310
 北陸営業所 〒920-0365 石川県金沢市神野町東52 ☎金沢(076) 249-6177 FAX.(076) 240-9333
 関西営業所 〒661-0032 兵庫県尼崎市武庫之荘東2丁目10-8 ☎大阪(06) 6432-7890 FAX.(06) 6434-2184
 中四国営業所 〒700-0975 岡山県岡山市今2丁目8-12 ☎岡山(086) 244-4123 FAX.(086) 244-9300
 九州営業所 〒839-0862 福岡県久留米市野中町1438-1 ☎久留米(0942) 32-4495 FAX.(0942) 31-7373

◎ 製品の修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、
お買い上げの販売店もしくは最寄りの弊社営業所にお申し付けください。

静岡製機株式会社

営業本部	〒437-1121 静岡県袋井市諸井1300	☎袋井(0538) 23-2822	FAX.(0538) 23-2890
北海道営業所	〒007-0804 札幌市東区東苗穂4条3丁目4番12号	☎札幌(011) 781-2234	FAX.(011) 780-2273
東北営業所	〒989-6135 宮城県大崎市古川稲葉字亀ノ子50-1	☎古川(0229) 23-7210	FAX.(0229) 21-1330
新潟営業所	〒950-0923 新潟県新潟市中央区姥ヶ山1丁目5番30号	☎新潟(025) 287-1110	FAX.(025) 257-1197
関東営業所	〒302-0017 茨城県取手市桑原字桑原1424-1	☎取手(0297) 73-3530	FAX.(0297) 70-1137
中部営業所	〒437-0023 静岡県袋井市高尾2620-1	☎袋井(0538) 43-2251	FAX.(0538) 45-0310
北陸営業所	〒920-0365 石川県金沢市神野町東52	☎金沢(076) 249-6177	FAX.(076) 240-9333
関西営業所	〒661-0032 兵庫県尼崎市武庫之荘東2丁目10-8	☎大阪(06) 6432-7890	FAX.(06) 6434-2184
中四国営業所	〒700-0975 岡山県岡山市今2丁目8-12	☎岡山(086) 244-4123	FAX.(086) 244-9300
九州営業所	〒839-0862 福岡県久留米市野中町1438-1	☎久留米(0942) 32-4495	FAX.(0942) 31-7373

◎ ご購入された製品や弊社のサービス全般についてのご提案、ご意見、
ご要望は下記までご連絡ください。

『静岡製機株式会社 お客様提案窓口』

フリーダイヤル ☎ 0120-702-118 (携帯電話、PHSは不可)

一般電話 0538-23-3305

FAX 0538-23-2674

ホームページアドレス <http://www.shizuoka-seiki.co.jp/>



用紙は再生紙使用、インキは大豆油を使ったSOY INKです。
弊社では地球にやさしい印刷物を使います。

10742-204010